

# 衆議院文部科学委員会ニュース

平成 23.3.25 第 177 回国会第 4 号

3 月 25 日（金）第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 15 号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）放送大学教授 小川 正 人君

元全国特殊学校長会会長

東洋大学文学部教授 宮崎 英 憲君

東京都教育委員会次長 松田 芳 和君

茅ヶ崎市教育委員会教育長 谷井 茂 久君

- ・高木文部科学大臣、笹木文部科学副大臣、鈴木文部科学副大臣、尾立財務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

（参考人に対する質疑）

### 山田 良 司君（民主）

- ・少子化による学級規模の縮小は、不登校児童・生徒数の減少等の効果があるとされている。また、諸外国と比較して学力が低下している現状があるが、学級規模と学力との関係について、小川参考人の見解を伺いたい。
- ・1 学級に数人という現状もある過疎地域における学級規模の在り方について、宮崎参考人の見解を伺いたい。
- ・「少子化が進む一方で、学校において指導するのが難しい子どもが増えている実感がある」旨の谷井参考人の発言について、より具体的な見解を伺いたい。

### あべ 俊 子君（自民）

- ・経済格差が教育格差とならないように、低所得者層に対する配慮について宮崎参考人の見解を伺いたい。
- ・特別支援学校に対する教職員の加配の必要性について松田参考人の見解を伺いたい。また、学級の人数といった構造より、教員の質やカリキュラム等の教育の質を重視して対応することが重要と考えるが、あわせて見解を伺いたい。
- ・山間地区と都会における教員の確保の在り方や、専科教員等を市町村の実情に応じ適切に配置することの必要性について、谷井参考人の見解を伺いたい。また、教員の質の向上が必要となった理由についてあわせて見解を伺いたい。
- ・教員の基礎定数と加配定数の配分の在り方と、教員定数の算定の在り方について、小川参考人の見解を伺いたい。

### 池坊 保 子君（公明）

- ・特別な配慮が必要となる児童生徒に対応するため、茅ヶ崎市独自で小中学校に配置している「ふれあい補助員」のような施策を、国として実施することについて、谷井参考人の見解を伺いたい。
- ・特別支援教育に関する専門家チームと、特別支援学校に配置される特別支援コーディネーター等の連携を強化するために都道府県教育委員会が担う役割について、宮崎参考人及び松田参考人に伺いたい。
- ・我が国の小・中学校の学級は、欧米諸国の学級と異なり、学習集団的な機能に加え、生活集団的な機能を持っているという差異を踏まえた上で、適正な学級規模について、松田参考人の見解を伺いたい。
- ・少人数学級が子どもにもたらす影響について、小川参考人の見解を伺いたい。

### 宮本 岳 志君（共産）

- ・諸外国の例と比較して、我が国は少人数学級への取組が根本的に遅れていると考えるが、小川参考人の見解を伺いたい。
- ・学級規模と教育効果との相関性について、小川参考人の見解を伺いたい。
- ・政府の教職員定数改善計画がはっきりしない状況が、今後の都道府県における教職員採用計画に与える影響について、小川参考人、松田参考人、谷井参考人の見解を伺いたい。
- ・特別支援学校における適正な学級規模及び専門性を持つ正規教員を配置することについて、宮崎参考人の見

解を伺いたい。

- ・本法律案により、市町村教育委員会が学級を編制する際、都道府県教育委員会との事前協議及び同意が必要な仕組みから事後届出制となることについて、谷井参考人の見解を伺いたい。

(政府に対する質疑)

### 室井秀子君(民主)

- ・学校現場では、教員の多忙化が問題となっているが、学級編制の標準を35人とするにより、どのような効果が得られるのか、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・本法律案により、市町村教育委員会が地域や学校の実情に応じ、柔軟に学級を編制できるような仕組みが構築されることとなるが、具体的にはどのような取組が行われるのか、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・小中一貫教育は特別の制度(研究開発学校、教育課程特例校)を活用して、学習指導要領等によらない教育課程を編成している。地方公共団体の財政力によってこの取組への格差が生じる懸念があるが、大臣の見解を伺いたい。

### 下村博文君(自民)

- ・国・地方の厳しい財政状況、また、平成23年東北地方太平洋沖地震による震災発生の状況をかんがみ、今までの政策の延長に過ぎない「新・公立義務教育諸学校教職員定数改善計画(案)」(平成22年8月)及びそれを踏まえた本法律案を根本的に見直す必要があると思うが、大臣の見解を伺いたい。
- ・本法律案においては、市町村教育委員会が学級を編制する際、都道府県教育委員会との事前協議及び同意が必要な仕組みから事後届出制になることから、より柔軟に学級を編制できるものとしているが、本当にそのように機能するのか。都道府県教育委員会が市町村教育委員会の意見を尊重することを法律に明記する必要性について、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・教員免許更新制の対象者の講習受講状況について伺いたい。また、民主党はその政策集「INDEX2009」において、教員免許更新制の廃止を主張していたが、現在でも廃止の主張なのか大臣に伺いたい。

### 馳浩君(自民)

- ・教職員給与について、義務教育費国庫負担金が22の県において国に返納されている現状について大臣の見解を伺いたい。
- ・義務教育費国庫負担金について、来年度もマイナスシリングを課すことについて財務省及び大臣の見解を伺いたい。
- ・教職員定数について、学級数に対応した基礎定数と個別の事情に対応した加配定数の在り方について今後検討していく必要があると考えるが文部科学省の見解を伺いたい。
- ・加配の配分に関する決定のプロセスについて、透明化、客観性などが必要であるとするが文部科学省の見解を伺いたい。

### 池坊保子君(公明)

- ・平成23年東北地方太平洋沖地震の被災地の学校において適切な教育が行われるための具体的な取組内容について伺いたい。
- ・被災地の学校への教員補充の方針について伺いたい。また、児童生徒の心のケアについて加配教員、スクールカウンセラー等を何人措置する考えか伺いたい。
- ・「新・公立義務教育諸学校教職員定数改善計画(案)」(平成22年8月)のタイムスケジュールについて伺いたい。また、同計画を推進するための安定的な財源の確保の見通しについて伺いたい。

### 宮本岳志君(共産)

- ・来年度以降、少人数学級の実施を小学2年生以上にも拡大していくことを明言すべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・新学習指導要領の実施に伴う授業時数増に対応するには、教職員の増員が必要と考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・新学習指導要領実施後、教員の勤務実態調査を行う必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

## 2 展覧会における美術品損害の補償に関する法律案(第176回国会閣法第14号、参議院送付)

- ・提案理由の説明を省略することに協議決定しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
(賛成 民主、自民、公明、共産、国守、土肥隆一君(無))